

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—	
事業毎の通番		1		市町村名		佐久市	
事業目的		当該地は、練積コンクリート床固工(昭32年)が整備され、その後平成2年に災害関連緊急治山事業により溪間工及び山腹工の施設整備を行い、下流保全対象への被害を未然に防止している。 昭32年施工練積コンクリート床固工2基が老朽化し、その機能を十分に発揮できず保全対象に被害を与える恐れがあるため、機能を回復することで、山地災害の防止を図りたい。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家27戸・市道800m					
着手年度		平成27年度		事業期間		3年間	
完成年度(見込み)		平成29年度		費用対効果		12.6	
全体事業内容(主な工種)		谷止工5個		事業費(千円)		68,000	
年度事業内容(主な工種)				国庫		34,000	
				其他		0	
				県債		30,600	
				一般財源		3,400	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 人家27戸・市道800mの保全					
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数: 27戸 ○公共施設数: 市道 ○災害時要援護者関連施設の有無: なし ○保安林・林業用施設: 17%				評価 C	
重要性		○過去の災害履歴: 平成2年 ○交通遮断による地域経済への影響: 影響度中 ○地域防災計画上の位置付け: あり				評価 A	
効率性		○費用便益比(B/C): 12.62 ○事業期間: H27~H29 ○工法等の比較検討: 検討なし ○流域の総合調整: 未調整				評価 B	
緊急性		○流域の地形、地質: 火山岩屑 ○平均溪床勾配(平均山腹勾配): 11° ○下流の堰堤等の整備状況: ポケットあり ○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域: 山217-19 C				評価 B	
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 図られていない ○住民との協働: 住民関与低い				評価 C	
部意見		溪床内に不安定土砂が堆積しており、放置すれば下流への土砂流出が懸念されるため、対策を行う必要がある。		行政改革課意見		保全対象に市道があり、交通遮断による地域経済への影響が大きいことから、重要性が認められる。 評価結果 ○ 総合評価 B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
【整備の必要性がわかる状況写真等】	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	昭32年施工床固工2個の通水断面が欠損していることを確認した。渓流内には既設床固工より流出した土砂が堆積しており、今後の降雨等により堆積土砂が流出する恐れがある。下流市道及び人家への土砂流出も懸念されることから、早急な対策が必要である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年度に佐久市から事業要望があった。
③事業説明等の経緯	平成26年10月31日、地元区長に現況及び復旧計画等について説明をした。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	事前防災を旨とした施設整備と併せて、災害に強い森林づくり指針に基づいた森林整備についての周知を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	
事業代表地点の緯度経度	
北緯:N 36-12-53 東経:E 138-26-11	